

高等学校・大阪市立大学連携数学協議会設立趣意書

2011年6月21日改定版

(設立主旨)

高等学校数学科教員と大阪市立大学数学科教員が交流し、高校と大学の数学教育の現状・改善および数学研究の動向に関して、情報交換と調査・研究を継続的に行う場とするために、高等学校・大阪市立大学連携数学協議会(略称 連数協)を立ち上げる。

(参加者の範囲)

参加者の範囲は、関西一円(特に大阪府内)の高校教員と大阪市立大学の教員を主とするが、数学科ホームページでの呼びかけにより参加を希望した高校教員はすべて参加可能とする。また、小学校、中学校の教員の参加も可とする。

(役員)

1. 高校側幹事: 深川 久(幹事代表: 大阪府立大手前高等学校)、
岩瀬謙一(大阪教育大学附属天王寺学舎)、
植田隆巳(大阪府立大手前高等学校)、加藤章三(相愛高等学校)、
金谷博史(清風高等学校)、久世武志(大阪教育大学附属高校平野校舎)、
中原繁樹(大阪市立都島第二工業高等学校)、林 明裕(清風南海高等学校)、
三輪 雅(大阪府立四条畷高等学校)、
2. 大学側幹事: 数学教室主任、佐官 謙一(幹事代表)、
今吉洋一(大阪市立大学名誉教授)、河内明夫(大阪市立大学)、
住岡 武(大阪市立大学特任)、田山育男(大阪市立大学非常勤)、
枘田幹也(大阪市立大学)、柳本朋子(大阪教育大学)

(活動)

1. 年1, 2回程度連数協幹事会および連数協を開催し、数学教育と数学研究の最近の話についての講演会と懇親会を行なう。
2. 高校の数学教育と大学の数学教育を考える場として、次のようなことを行う。
 - (1) 高校数学と大学数学の架け橋を検討する。
 - (2) 大学の数学教育の問題点を、高校数学との関連で調査・検討する。
 - (3) 上記の(1), (2) の活動を通して、高校と大学における数学教育や情報教育の教材開発と授業実践を行う。
 - (4) 高校生や高校教員の数学に関する質問に大学側が答えるように努める(大学の数学関係学科への進路問題も含む)。(Eメールを利用する。)
 - (5) 大阪市立大学数学教室に関する情報をEメールなどにより案内する。
 - (6) 大阪市立大学数学教室が高校の数学教育について、高校側メンバーにアンケートを行うことがある。

- (7) 連数協が必要と認めた活動は, これを行う.
3. 高校側メンバーが所属高校等に大学数学教員を出向させたい場合には、大学教育に支障のない範囲で、これに応じる。
4. 夏休みなどを利用して、特定のテーマについて研修会や研究会を開催したり、週末などに定期的なセミナーを行うことも出来る。
5. 連数協が高校生や一般市民のための講演会やセミナーを開催する。
6. 大阪市立大学数学教室の次の組織が、連数協に対して協力する。
 - (1) 大阪市立大学数学研究所(この中に連数協本部を設置する)
 - (2) 大阪市立大学数学研究会